

# ひとなる

白川を愛し、たくましく心のあったかい子を育む美濃白川 鍛えの場・芽生えを培う場・やすらぎの場・広がり

## 町内中学2年生の青雲のつどい

白川中学校・黒川中学校・佐見中学校3校合同研修

6月6日～6月8日の3日間、町内の3つの中学校が立志式を行い、『大人』に向けての決意を堂々と発表しました。また、本年度から研修場所が福井県の若狭湾青少年自然の家に変わりましたが、生徒は事前学習を丁寧におこない、見事に研修を作りあげました。6年後の成人式では、全員が素敵な大人に成長していることを楽しみにしています。



3校でマイバードを合唱



力を合わせたカッター研修



●海での活動(カヌー・いかだ・釣り) ●陸の聞き体験



家族の方からの手紙に涙しました

## 可茂地区中学校総合体育大会 陸上大会

6月16日(土)に関市中池陸上競技場で、中体連陸上大会が行われました。白中・黒中・佐見中には陸上部がないため、学校代表として希望を募り参加しました。大きな学対に圧倒されることもなく、堂々と白川の中学生が精一杯競技する姿に感動しました。

種目	順位	学校	入賞選手
1500m走(共通女子)	準優勝	白川中	今井純奈 さん
走り高跳び(共通男子)	第4位	黒川中	加藤 真 くん
1500m走(2年男子)	第5位	佐見中	田口啓太 くん
110mH(共通男子)	第5位	白川中	中嶋颯汰 くん
100m走(3年女子)	第7位	黒川中	今井日咲 さん
1500m走(3年男子)	第8位	白川中	渡邊晃也 くん



## 小学校よりお便り

### 佐見小宿泊研修

5月31日～6月1日に5・6年生一緒に日間貸室に行きました。藤崎干潟で海の生き物観察をし、2日目魚のつかみ取り、たこの干物作りなどを行いました。



### 白川北小修学旅行

京都・奈良に行きました。法隆寺の五重塔、大きさときれいさと深い庭園とびっくり、2日目お宿り。自分たちで行き先を決め、自分たちで考えて行動できました。



## 白川町青少年健全育成大会 少年の主張発表大会

平成30年6月17日(日) 町民会館クローアホール

白川中学校3年 藤井愛香さん 『白川から世界へ』	白川中学校3年 今井蓮華さん 『言葉がなくても伝わる』	佐見中学校3年 安江 和さん 『未来につなぐ』	黒川中学校3年 藤井 蘭さん 『あなたの夢は何ですか』	黒川中学校3年 今井日咲さん 『考えて生きるということ』	佐見中学校3年 高木真悠さん 『友だち』

町内中学生6名が、自分の考えたことをまとめ、堂々と発表をしました。地域のこと、家族のこと、友人のこと、生き方のこと等々、思春期の真っただ中、大人に向けて、一步一步歩んでいます。黒川中3年の藤井 蘭さんは、中濃大会(岐阜県大会予選)出場の切符を手に入れました。

「あなたの夢は何ですか」  
黒川中 三年 藤井 蘭

『あなたの夢は何ですか』  
そう聞かれたとき、すぐに答えることができませんでした。私はつい最近まで「これだ」と答えるものはありませんでした。しかし、ある出来事をきっかけに「なりた」と思える職業を見つけたことがありました。私は、今年の四月、白川町の姉妹都市であるイタリア・ピストイアに派遣団の一人として行くことができました。四日目は観光をしたり、学んだことができませんでした。しかし、帰国の日、私は盲腸になってしまいました。手術・入院することになったのです。他の派遣団の子と一緒に帰ることができず、イタリアに一人残ったという不安すら伝わらないという不安、初手術初入院だということに不安。友達や家族が近くにいない不安。たくさん泣いて、いかに不安が積み重なって来いかり、私は押しつぶされそうでした。しかし、そんな時、優しく接してくれたのが、小児科の看護師の皆さんでした。最初は何をしたらいいのか、何を言ったらいいのかも分からず、首をかしげるばかりで、入院生活も全く楽しくありませんでした。でも、徐々に「これは元氣ですか」と聞かれていたんだな。その

看護師さんは、熱を計りに来ていたんだなと分かるようになっていきました。また、看護師の皆さんは頑張りすぎて日本語を覚えようとしてくれて「痛い」と片言ながらに聞いてくれたり、笑顔が少なかった私を笑わせようとして「あなたは盲腸という難しいイタリア語を覚えるためにここに来ただよね」と冗談を言ってくれました。そのお陰で私の心の中にたまっていた不安がだんだん消えていき、少しずつ入院生活を楽しめるようになっていきました。食事もそれるようになりました。退院当日、感謝の気持ちを伝えるために、英語と日本語で書いた手紙を看護師の皆さんに渡し、見て、喜んでくださったのを見たと思います。看護師の皆さんからは、イタリア語と日本語で書いた手紙をもらいました。退院するという実感が沸き、嬉しいような、寂しいような複雑な気持ちになりました。そして、病院を出るとき、お世話になった看護師の皆さんが「元氣だね」と体調に気をつけてね」と言ってくれて下さっていました。たった十日間の入院でしたが、山ほどあった不安は、五日もたたないうちに消えていきました。

## オープニングアクション 中学生による箱笥太鼓

オープニングは、黒川中学校2年生が、黒川箱笥太鼓を披露しました。



地域の皆様へ 小中学生は、いよいよ1学期が終了し、7月21日からは夏休みです。家庭や地域の皆様に、見守っていただき、子どもたちが安全で充実した時間を送ってほしいと願っております。地域の行事等で、多くの目と声で、町の子どもたちを見守りください。どうぞよろしく願いいたします。